

令和7年園内に出没したヒグマの対応経緯について

園内の飼育動物への被害はありませんでしたが、安全確認のため11月16日まで休園しました。

11月9日(日)

10:00頃

円山原始林に隣接する「動物園の森」内で、森のボランティアがヒグマの足跡を発見



12:00

来園者の安全確保のため、臨時休園

13:30頃

札幌市環境共生担当課による現地調査

・野生復帰施設の 獣舎窓枠のフェンスの一部が壊されていることを確認



夕刻

野生復帰施設、動物園の森内にセンサーカメラを設置

22:30頃

夜間警備員が職員通用門にてヒグマを目撃

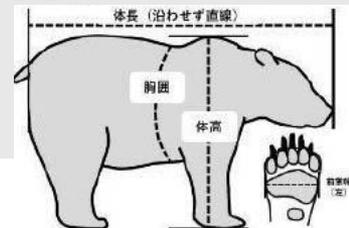
11月12日(水)午前11時33分

さっぽろヒグマ基本計画2023



「さっぽろヒグマ基本計画 2023」に基づき、箱わなにかかったヒグマ 1頭を電気止め刺し

- ・性別: オス
- ・体長: 113.0cm
- ・体高: 59.0cm
- ・前掌幅: 11.0cm



箱わな

当園だけではなく近隣の住宅地や緑地に繰り返し出没していた個体と考えられ、駆除後の目撃情報はありません。

11月10日(月)

7:30

札幌市環境共生担当課および猟友会らと園内調査

- ・園内複数箇所足跡を確認
- ・園内監視カメラ、センサーカメラでヒグマの姿を確認

午後

園内に箱わなを設置

猛禽舎と総合水鳥舎前に電気柵を設置



今後の対策について

当園は、周囲を忍び返しのある3mの金網で囲っており、1951年の開園以来、園内へのヒグマの侵入はありませんでしたが、今回はこの金網を乗り越えて侵入されました。

今後、外周のフェンスへの電気柵設置など、専門家等の意見を聞きながら、有効かつ実効性のある侵入防止対策を検討します。

また、ヒグマが置かれている現状や人とのあつれき、私たちができること等を、来園者の皆様に伝えてまいります。